第３学年　国語科

教科目標

① 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫しながら話したり聞いたりしようとする態度を育てます。

② 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てます。

③ 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てます。

学習計画

月	単元・題材名	時間	書写	学習活動
4	○ 様子や気もちがつたわるように音読しよう			
	・ すいせんのラッパ	7		・ 場面の様子や人物の気持ちを想像し、聞き手に伝わるように、工夫して音読する。
	・ 本にしたしもう	1		・ 読んだ本の情報を記録したり、感想を書いたりする。
	・ 自分をしょうかいしよう	5		・ 自分について知らせたい内容を考え、文の組み立てを考えて書いたり話したりする。
	・ 国語じてんの使い方を知ろう	3		・ 国語辞典の仕組みと引き方を理解し、言葉の意味や正しい書き表し方を調べる。
5	○ だん落に気をつけて読もう		3	
	・ 自然のかくし絵	7		・ 書かれている内容を段落ごとに正しくとらえながら読み取る。
	・ えらんだ理由を話そう	3		・ 話題に対して自分が選んだことに対する考えと理由を明確にし、整理して話す。
	・ かんさつしたことを書こう	4		・ 生活の中で観察して気づいたことを，事柄ごとに整理して書く。
	・ 形のかわる言葉に気をつけよう	3		・ 言葉の類別について知り、動詞、形容詞、形容動詞などを類別して理解し、活用することや活用形について知る。
6	○ 物語のあらすじをとらえよう		4	
	・ ゆうすげ村の小さな旅館	10		・ 場面の移り変わりに気をつけて読み、物語のあらすじを読み取ってまとめる。
	・ 話を聞いてメモをとろう	3		・ 話の大事なことを聞き取り、メモを取る。
	・ 漢字の組み立てと意味を考えよう	3		・ 部首や共通する部分を持つ漢字があり、漢字の組み立てからそれらが意味の上でも共通性を持つことを理解する。
	○ 書く人のくふうを考えよう			
	・「ほけんだより」を読みくらべよう	9		・ 事柄の取りあげ方や、説明の仕方を読み取る。
7	・ 心にのこったことを書こう	10	2	・ 伝えたいことの中心を考え、書く材料を選んで書く。
	・ 慣用句を使ってみよう	4		・ 慣用句について知り，慣用句を使った短文を書く。
	・ 本は友だち	2		・ 読書への関心を高め、多様な本を読む。
9	・ 詩を読もう 「紙ひこうき」 「夕日がせなかをおしてくる」	2	3	・ 場面の様子や人物の気持ちを思い浮かべながら、一人で読んだり、役割を分けて読んだりするなど工夫して、詩を声に出して読む。
	・ 話したいな、夏休みの出来事	6		・ 自分の話を順序よく筋道を立てて話し、友達の話を自分と比べながら聞く。
	・ 案内の手紙を書こう	4		・ 案内するときに大事なことを落とさないように書く。
	・ ローマ字	4		・ ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、ローマ字を使って単語を書く。

10	○ 人物の気持ちを考えながら読もう		3	
	・ サーカスのライオン	12		・ 物語の中心となる人物の気持ちの変化を考えながら読む。物語の感想を文章にまとめ、友達と伝え合う。
	・ お話を作ろう	8		・ 地図を手がかりに想像を広げ、場面を整理してお話を書く。書いたお話を読み合い、お話の感想や書きぶりのよさを伝え合う。
	・「こそあど言葉」を使い分けよう	3		・ 指示語の働きや種類について理解する。
	○ はたらく犬について調べよう		4	
	・ もうどう犬の訓練	12		・ 段落ごとに大事な言葉や文を見つけ、書かれている内容を短くまとめながら読み取る。「はたらく犬」についてもっと知りたいことを本や資料で調べて書き、話し合う。
11	・ こちら、「子ども相談室」	6		・ 相談するときの話し合いについて自分の考えと理由を分かりやすく話し、相手の伝えたいことを考えながら話し合う。
	○ 調べたことを整理して書こう		2	
	・ 研究レポートを書こう	13		・ 知りたいことについて調べ、調べたことを整理して文章に書き、完成した「研究レポート」を読み合って感想を伝え合う。
	・ 様子をくわしく表そう	3		・ 修飾語を含む文の特徴を知り、様子を詳しく書き表す工夫をする。
12	○ 世界の民話を読もう		3	
	・ 木かげにごろり	11		・ 世界の民話を読んで、民話のおもしろさを味わう。自分が読んだ民話のあらすじや感想などをまとめた「民話の紹介カード」を作り、読んだ民話を紹介し合う。
	・ 俳句に親しもう	5		・ 俳句を声に出して読んで、言葉の響きやリズムを感じ取るとともに、情景を思い浮かべる。
	・ くらべて分かったことを書こう	5		・ 二つのものを比べ、同じところと違うところを整理して文章を書く。
1	○ 調べたことを整理して発表しよう		4	
	・ わたしたちの町の行事をしょうかいしよう	13		・ グループで調べたことを整理し、発表会を開いて分かりやすく説明し、自分たちの発表を振り返る。
	・ 漢字の表す意味を考えよう	3		・ 漢字が複数の意味を表すことを理解し、漢字の表す意味の違いについて整理する。
2	○ 世界の家のつくりについて考えよう	12		・ 文章や絵から読み取ったことをもとに筆者の視点や考えを知る。筆者の視点を参考にして日本の家のつくりについてまとめ、交流する。
	・ 人をつつむ形―世界の家めぐり	7	2	・ これまでに書いた文章を読み合って1年間を振り返り、「わたしの作品集」を作る。
	・「わたしの作品集」を作ろう			
3	○ 場面の様子を思いうかべながら声に出して読もう	12		・ 場面の移り変わりとともに変化した人物の気持ちを読み取り、聞き手に気持ちの伝わる読み方を工夫し、音読発表をする。感想文を書き交流する。
	・ 手ぶくろを買いに			
授業時数の合計　245時間				

国語科の評価

<table>
<tr><th>観　点</th><th>評　価　基　準</th><th>評　価　方　法</th></tr>
<tr><td>国語への関心・意欲・態度</td><td>国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、工夫をしながら話したり聞いたり書いたり、幅広く読書したりしようとしているかどうかという観点から見ます。</td><td rowspan="5">・学習態度
・学習中の応答
・発表内容・発表の様子
・聞き取りメモ
・取材カード・原稿内容
・スピーチ発表
・ワークシート
・作文・感想文・説明文
・ノートへの記入
・音読の様子
・硬筆・毛筆作品
・漢字ノート
・テスト・漢字ドリル
などから総合的に評価します。</td></tr>
<tr><td>話す・聞く能力</td><td>相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたり、進行に沿って話し合ったりしているかどうかという観点から見ます。</td></tr>
<tr><td>書く能力</td><td>相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書いているかどうかという観点から見ます。</td></tr>
<tr><td>読む能力</td><td>目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら本や文章を読んでいるかどうかという観点から見ます。</td></tr>
<tr><td>言語についての知識・理解・技能</td><td>伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を形や大きさ、配列、筆圧などに注意して書いているかどうかという観点から見ます。</td></tr>
</table>